

はじめに

「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」の作成に当たって

一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会（以下「COPITA」という）は、平成 19 年より、独立行政法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センターとの共同実験により、4 種類のプレボーリング杭工法で施工した杭について、各種載荷試験を実施し、その支持力特性についての調査・解析を行ってきました。

平成 20 年には、同研究センター 橋梁構造研究グループより「道路橋基礎に中掘り杭工法、プレボーリング杭工法を適用する場合の施工管理記録について」が示され、これに記載されている施工管理項目について、管理手法等の確立が必要な時期に来ております。

また、「杭基礎施工便覧」が平成 27 年 3 月に改定され、公益社団法人 日本道路協会から発刊され、これに対し、COPITA は、さらなる施工品質の向上を目指し「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」を改訂しました。

2012 年 3 月（第 1 版）

社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

2012 年 7 月（第 2 版）

一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

2016 年 3 月（第 3 版）

一般社団法人 コンクリートパイル建設技術協会

「COPITA 型プレボーリング杭工法の施工ガイドライン」の改訂（第 4 版）について

2015 年より、国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センターとの共同実験により、岩を支持層としたプレボーリング杭について、施工性の確認、根固め部の強度特性調査および載荷試験を実施し、その支持力特性についての調査・解析を行いました。

また、実現現場での実績も 370 件を超え、杭周部の強度調査数も多くなったことから、その資料を収集し統計的な分析を試み、確実に強度を発現する配合を確認しました。

これらに状況を鑑み、今般、「杭基礎施工便覧」の令和 2 年 9 月の改訂に合わせて、各種結果を追加したガイドラインを新たに作成しました。今後、COPITA では、既製コンクリート杭の施工に関し、会員会社が共通認識とすべき技術、品質の確保・向上、施工管理の強化、施工記録の重要性の認識など、更なる普及に向け最新の情報・技術を発信、周知するのみならず、施工に関わる者の倫理規定に従いながら、業界全体でのレベル向上に努めてまいります。

2021 年 5 月

一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会